

個人の持続的な学習を支援する取組

富山県大学連携協議会など「e-ポートフォリオシステムの活用と地域での展開」

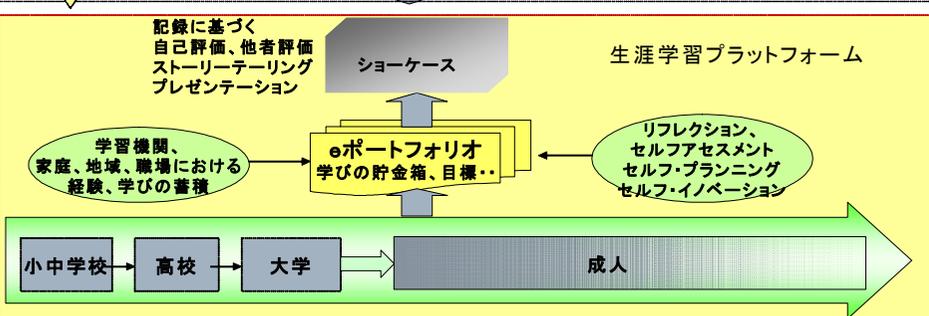
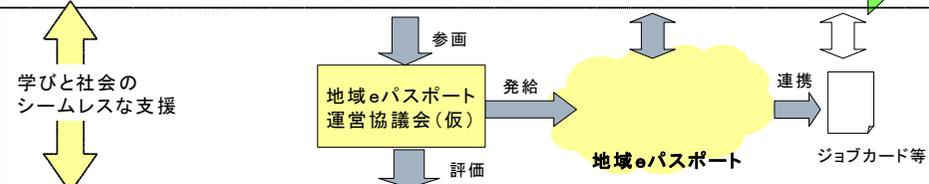
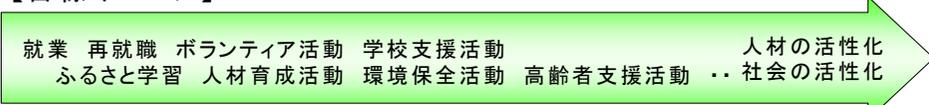
一人ひとりの学習や活動の履歴を適切に管理・評価するため、**eポートフォリオ**が、これからの生涯学習社会の構築に有効であるとの認識に立ち、富山県内の大学で学生向けの運用を始めている。また、同地域では、産学官による研究協議会を立ち上げ、対象を高校生や社会人にも広げ、個人の持続的な学習と成果の活用につなげるための試行検証を段階的に行なっている。

◆H21年度～(学生向け)

学生の学習履歴、インターンシップなどの就業体験活動、課外学習体験など多様な学習体験活動を自ら評価する観点から、これらの活動を記録・蓄積し、個に応じた学習管理と就業など地域社会活動へ活かす仕組みとしてeポートフォリオシステムを開発。

学生の修学の振り返りと主体的な学びの支援、企業や地域との相互の情報のマッチングによる円滑な就職活動や社会活動の支援、就業でのミスマッチの低減などを図り、キャリアサポート体制の充実並びに学生の修学意欲やキャリア形成意識の向上を図る

【目標イメージ】



◆H22年度(高校生、大学生、社会人向け)

文部科学省調査研究:ICTの活用による生涯学習支援事業
(狙い:eポートフォリオの活用)

- ・「個人の持続的、主体的な学習への効果」について実証的に評価
- ・「学習支援者、就業支援者、企業等による活用効果」の実証評価と「生涯学習プラットフォームの構築」に向けての方策の検討

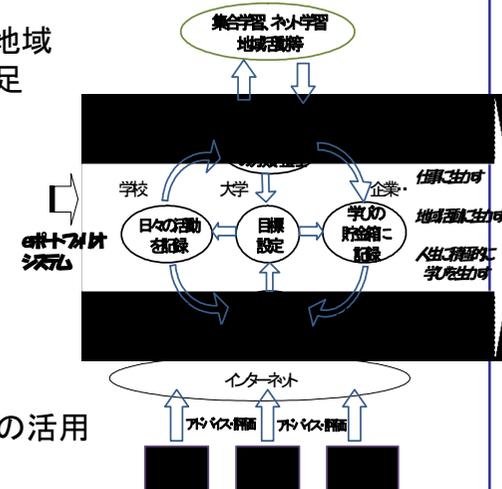
(地域実験)

- ・富山大学や地元機関からなる地域学習パスポート研究協議会発足
- ・「再就職」と「就活」のための2つのモデル講座を開催

学習者
・自己理解の深化、目標と日々の行動の意識、記録
・計画性、表現力が向上

学習支援者
・情報量が拡大し適時に指導
・指導記録、アセスメントとしての活用

就業支援者
・新たな情報価値の可能性



◆H23年度(地域での活用を試行)

文部科学省調査研究:ICTの活用による生涯学習支援事業

eポートフォリオを根拠として学習成果をまとめショーケースに公開地域人材として認定する「地域eパスポート」を試行的に発行・活用し、就業や社会貢献活動で活用する仕組みを検証中